

生き延びるための防災貢献活動

～地域に根ざす建設業者がやるべきこと～

2010.12.8

株式会社山田組/(社)名古屋建設業協会

山田 厚志

お話しポイントは…

地域に根ざす中小建設業者にとって

BCP(事業継続計画)とは…

<被災後にどう生き延びるか>

だけではなく、

<防災貢献によって、どう生き延びるか>

をも、意識・実行していくことである

山田 厚志(やまだ・あつし)

1954(昭和29)年5月14日生まれの56歳

愛知教育大学大学院芸術教育学修了、在学中に、
愛知県立西尾東高校美術講師として2年勤務

その後、愛知教育大学、豊田高等工業専門学校、
愛知県立芸術大学、名古屋芸術大学、
名古屋造形短期大学などで美術・デザイン教育
に携わり・・・

現在は・・・

株式会社山田組代表取締役

株式会社ナックプランニング代表取締役

名古屋学芸大学デザイン科非常勤講師

社団法人名古屋建設業協会会長 ほか

本業は、「まちづくり業者」

建設業者は大きく二分

- いえづくり(民間工事)
- まちづくり(公共工事)

私たちは、まちづくり業者

「まちづくり業者」とは・・・

- 公共事業を受注して施工する業者

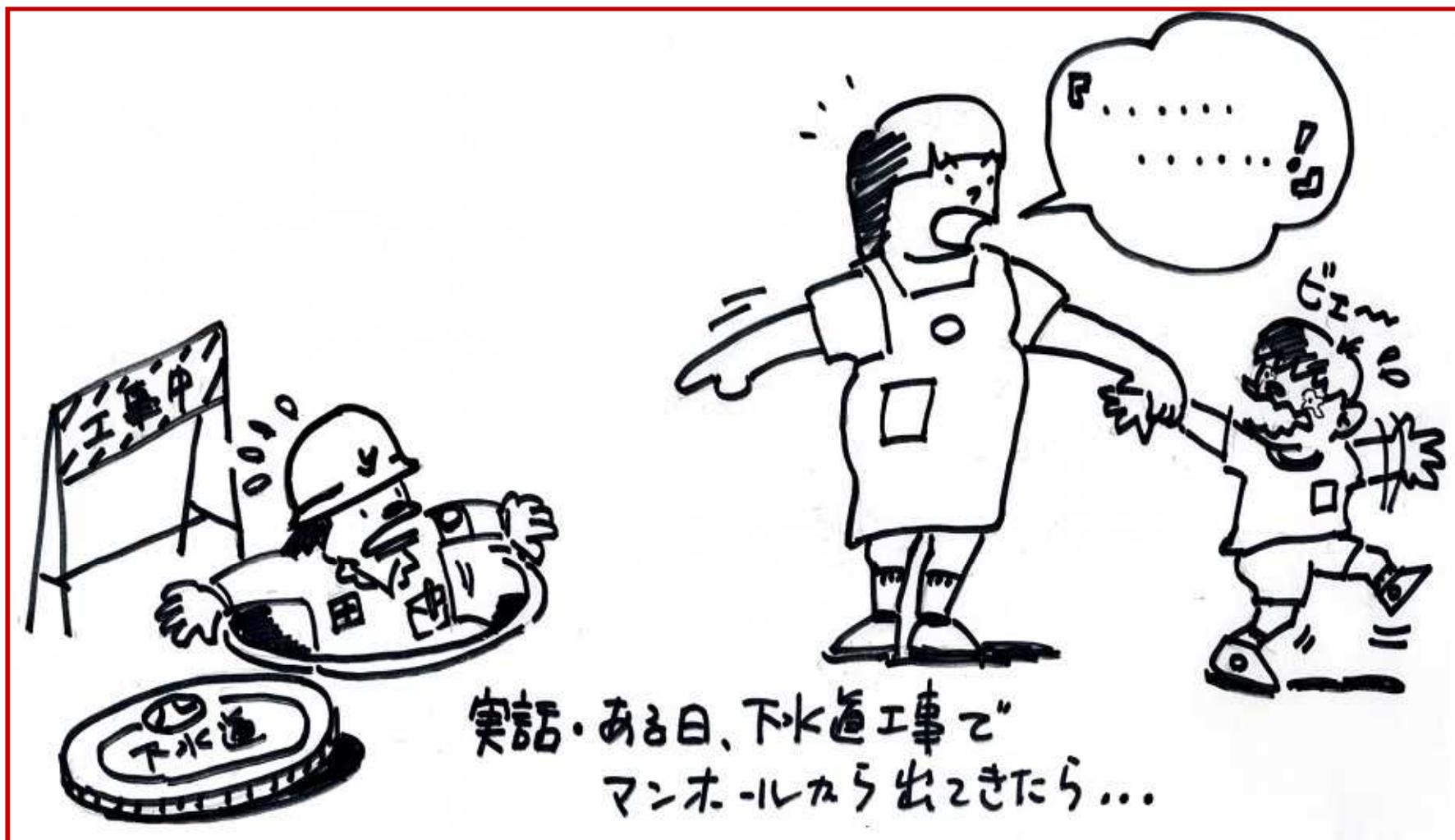
民間の仕事とは違う

税金が投入されている

市民が利用するものをつかって納める

- 社会性・公益性が高い仕事・・・災害復旧の担い手
- 公益法人としての建設業協会が業者の公益性を担保している・・・はず

悲しすぎて笑える話



まちづくり業者の心理傾向

戦後50余年、お上から仕事を受注しているうちに・・・

1. **他力本願**・・・なにごととも受け身、自ら動くこと
少なし、気がつくと公共事業「冬の時代」に
2. **護送船団**・・・なにごととも一緒にやろうとする、
強きに従い、「みんなでやれば怖くない」
3. **虚弱体質**・・・なにごとともネガティブ、仕事が
減って、「昔はよかったなあ...」

いざという時、果たして・・・

名寄せしたら資機材申告は、重複だらけ
緊張感薄い防災訓練
社員や企業の士気・モラルの低下
なにより、企業存続の危機に瀕している

目覚めよ、建設人の【善性】

「できない」とは言いたくない

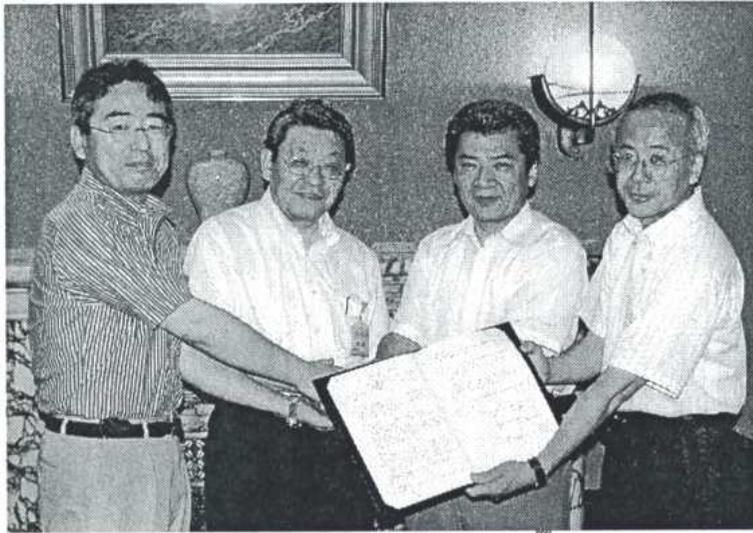
外での仕事は何より好き

「ありがとう」と言われることが最高

そうだ「防災貢献」を利用しよう

ボランティア用 災害時資機材の 分散保管で、 市と市民団体と 名建協の 三者協定成立

左から山田名建協会長、因田名市副市長、高崎代表



政令市初の取り組み

名市・名建協・ボランティア連絡会

「災害活動用資器材三者協定」結ぶ

名古屋市は19日、名古屋建設業協会（山田厚志会長）となごや災害ボランティア連絡会（高崎賢一代表）の3者で、「災害ボランティア活動用資器材の管理に関する三者協定」を締結した。こうした協定は、全国の政令指定都市としては初の取り組みで、市からは因田副市長が出席し、各団体代表と市役所本庁舎で締結式を行った。

協定内容は、名古屋建設業協会の会員が所有する倉庫を災害用資器材の保管場所として提供し、なごやボランティア連絡会が平常時の維持管理を行うというもの。資器材を市内各所に分散保管することで、大量保管と被災時のリスクが回避され、災害時におけるボランティアによる迅速な応急対策活動が可能になる。

では、中部圏の将来像や、中部圏の持続可能な発展戦略が議題となり、「都市と周辺地域の共存を考えるべき」「東京圏や大



地
建設トップランナーフ
ォーラムと日本青年会議
所（JCC）建設部会は、
「選ばれる会社を目指し

会社では、地域防災大会を開催

2005年から6年連続中



海の上の地域



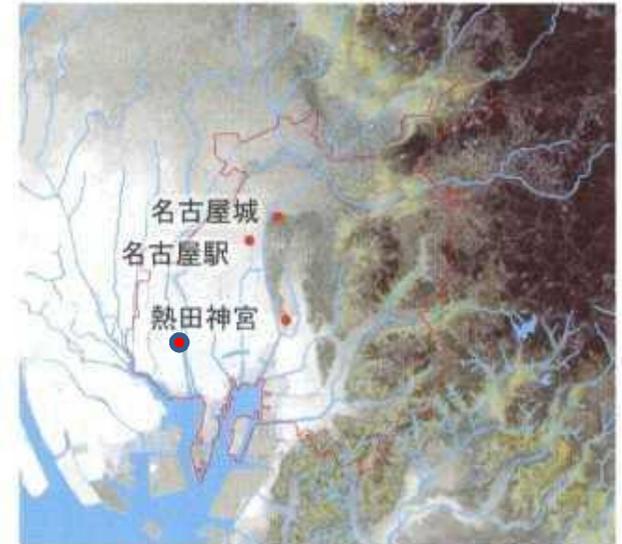
名古屋の地形の移り変わり



紀元前 4000 年



名古屋城築城 1610 年



現在 2009 年

第6回供米田学区地域防災大会

世界一
受けたい

供米田防災学園

防災・減災授業

～災害に強い供米田学区をつくるために～

記 録 誌



供米田防災学園

日時 平成22年11月13日(土) 8時30分～12時30分

会場 供米田中学校体育館と運動場

学園理事長と、
校長先生(笑)

開催記録は、山田組
HPからダウンロード
できます

<http://www.yamada-gumi.jp/10bosai/h22bosai.pdf>

防災を通じて、つながりの再生を

できること、得意なことで地域貢献する

私たちにとって、それは「防災」貢献
少しずつ本来あるべき「市民とのつながり」
を復活しつつある

…そして、業者同士の良き「つながり」も

そして、防災貢献は…

本業の生き残りを助けてくれる

今、生き残れなければ、
被災後の生き残りもない

まちづくり業者は、防災貢献すると
ビジネスチャンスが広がる！

〈評価基準等一覧〉

(緑政土木局特別簡易型)

評価分野	評価項目	評価基準	配点	
企業の施工実績	① 過去10年間の同種工事※1の施工実績	① 本市の実績あり	2	2
		② 国又は他の地方公共団体等の実績あり	1	
		③ その他	0	
	② 過去2年間の工事成績評点の平均点 (緑政土木局発注の同一業種※2に限る)	① 80点以上	4	4
		② 75点以上80点未満	2	
③ 70点以上75点未満		1		
④ 65点以上70点未満、または成績なし		0		
⑤ 65点未満		0		
③ 過去2年間の本市の優秀工事施工業者表彰の受賞実績	① 受賞実績あり	1	1	
	② 受賞実績なし	0		
④ ISO9001の認証取得状況	① 認証取得している	1	1	
	② 認証取得していない	0		
⑤ 前年度の緊急業務対応業者(※3)	① 2件以上の実績あり	4	4	
	② 1件の実績あり	2		
	③ 実績なし	0		
配置予定技術者の能力	① 過去10年間の配置予定技術者の同種工事※1の施工実績	① 本市の実績あり	2	2
		② 国又は他の地方公共団体等の実績あり	1	
③ その他		0		
② 過去2年間の配置予定技術者の工事成績評点の平均点 (緑政土木局発注の同一業種※2に限る)	① 80点以上	4	4	
	② 75点以上80点未満	2		
	③ 70点以上75点未満	1		
	④ 70点未満又は成績なし	0		
	⑤ 70点未満又は成績なし	0		
地域貢献・地域精通度	① 本市内における本店の有無	① 本店あり	2	2
		② 本店なし	0	
	② 下記のいずれかに該当する過去5年間の活動実績の有無 ・国又は地方公共団体との災害協定等に基づく本市内での活動 ・本市との災害協定等に基づく本市域外での活動	① 本市との災害協定等に基づく実動実績あり	4	4
		② 国又は他の地方公共団体との災害協定等に基づく実動実績あり	3	
		③ 防災訓練に参加活動の実績あり	2	
④ 災害ボランティア資機材の保管等の実績あり		1		
⑤ 活動実績なし	0			
③ 本市内における過去5年間のボランティア活動実績の有無	① 活動実績あり	1	1	
	② 活動実績なし	0		
その他	① 環境配慮の取組み	① 本市内所在の事業所でISO14001の認証を取得している者又は本市エコ事業所に認定されている者	1	1
		② 認定なし	0	
	② 障害者の雇用状況	① 本市の障害者雇用促進企業に認定されている者	1	1
② 認定なし		0		
③ 子育て支援の取組み	① 本市の子育て支援企業に認定されている者	1	1	
	② 認定なし	0		
得点合計				28

総合評価 落札方式

防災貢献が
価格競争力を強化する

あるべき姿(理想・ビジョン)

「理想」と「現実」との「差」が問題点

まず理想を固める(デザイン)

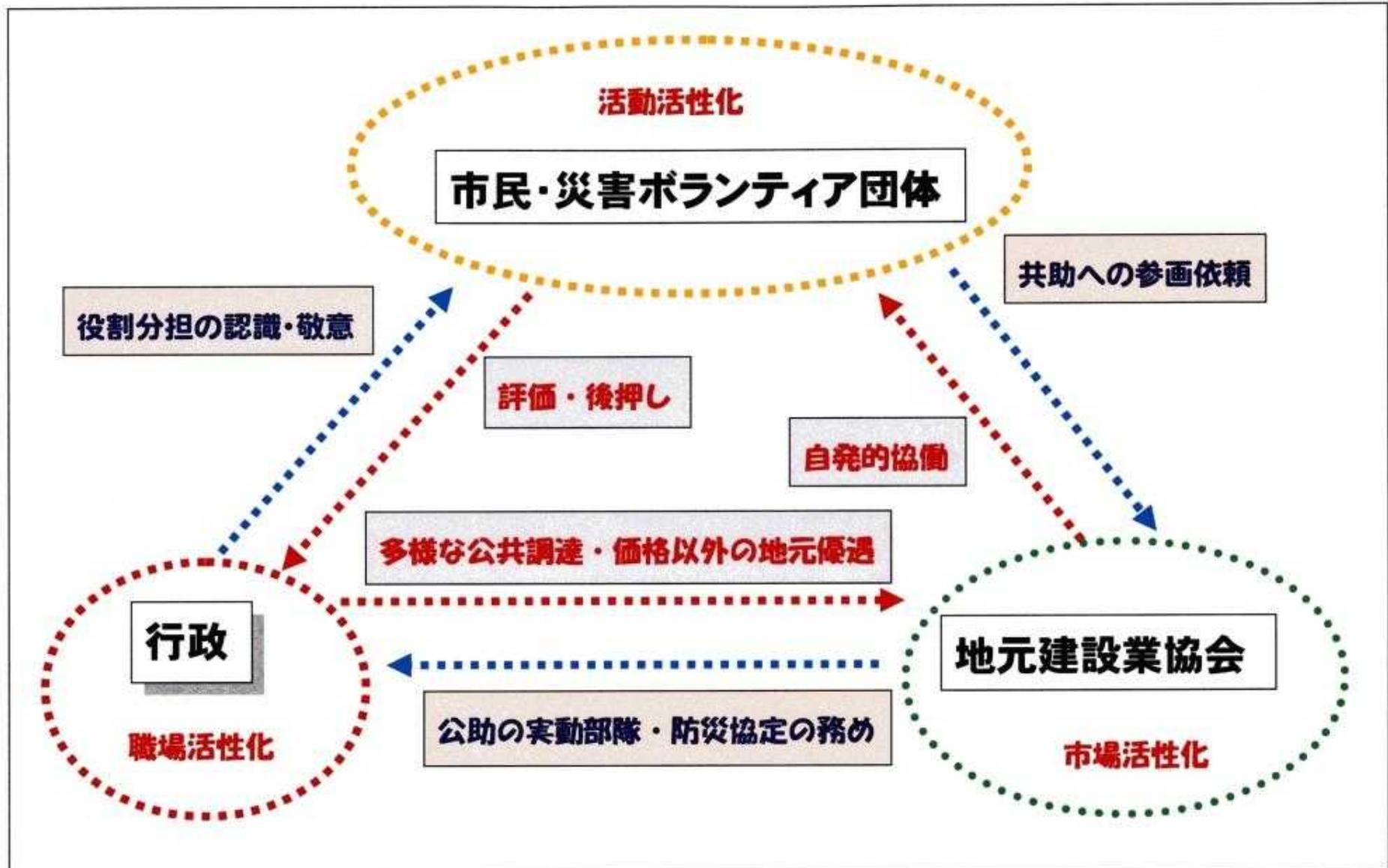
暮らしやすく心地よいことが災害にも強いまち

地域コミュニティ再生で<環境><防災>力UP

「防災」で生き延び、「災害復旧」で貢献する

その上で、できることから楽しく始める(ドリフト)

地元建設業者にとっての「防災ポラリス」



これからも「ドリフト」します

1. 「防災協働」は、まずお互いが本業重視で
2. 同時に「自分に何ができるか」の説明を
3. 持っている、入ってくる情報の共有を
4. 以上の先に、WIN・WINの連携・協働が

地域防災大会の開催を通じて、
会社はビジネスチャンスをつかみ、
社員は防災・減災のスキルを磨きます。